

## 平成18年度歯科保健活動事業報告書

平成19年3月31日

財団法人 8020推進財団

理事長 大久保満男 殿

住 所 〒422-8006

静岡県駿河区曲金3丁目3番10号

申請団体名 (社)静岡県歯科医師会

代表者氏名 飯 嶋 理

担当者氏名 西 原 和 行

1. 事業名 8020運動の地域展開におけるツールの開発パートIIについて
2. 実施組織 8020健康静岡21推進会議
3. 実施事業
  - (1) 8020健康サンバ体操のCD, DVDの作成及び普及
  - (2) 成人・高齢者向けの紙芝居の作成と普及
  - (3) 関係職種と連携した、各地域における実践活動
  - (4) メディア懇談会の設置と活用

## 4. 事業内容

- (1) 8020健康サンバ体操のCD, DVDの作成及び普及

8020健康サンバは、昨年の貴財団の助成交付金によりCDの作成を行なったところである。歌詞は児童文学者であり、かつ8020健康静岡21推進会議委員でもある平野ますみ氏が担当し、作曲は静岡県歯科医師会広報担当理事の塚原 満氏が行なっている。今年度は、この8020健康サンバに静岡県体育協会副会長・静岡県リズムムーブメント研究会会長の矢崎昭子氏に、新介護予防のコンセプトに沿って創作していただき、日本大学歯学部摂食機能療法学講座、植田耕一郎教授に監修していただき「子ども編」(立位)と「高齢者編」(座位)の2通りの8020サンバ体操を作成した。

子ども編は小さい頃より8020の概念を知り、お口も体も元気に楽しく健康を育むように大きく体を動かす体操で、幼稚園、保育園、小学校の園児・児童を対象している。

高齢者編は、椅子に腰掛けた状態で、唇を突き出したり舌を動かすことによって、口の周りの筋肉が鍛えられ、口腔機能の維持・強化が計られると共に、足を上げたりする運動を取り入れる事により、足腰の筋肉も鍛えられるよう考案されている。

この2つのパターンの体操をDVDに収録し、普及を計る目的で県内の老健介護施設や幼稚園・保育園などに無料で配布した。

このサンバ体操は平成 18 年 9 月 28 日、静岡県歯科医師会館で開催された第 1 回メディア懇談会の席上において、原作者の矢崎昭子氏による実演を行った。集まった報道関係者の方々から、大変興味深いものとして好評を得、「実演があるならカメラを持ってくればよかった」との声もあった。この件については、3社の新聞等に記事掲載された。

また、平成 18 年 10 月 29 日、ねんりんピック静岡 2006 開催時「ツインメッセ静岡(静岡市駿河区)」において矢崎昭子氏をはじめ、体操教室の子どもたち総勢 44 名と三島市 8020 推進員 12 名の協力を得て観客に披露した。当日は日本テレビの「ご存じですか」の取材もあり、啓発普及に大いに役立ったと評価している。

さらに平成 19 年 1 月 25 日に静岡市民文化会館(静岡市葵区)にて開催された「8020 推進静岡県大会 2007」では、8020 推進員を中心に来場した 500 名の観客の中で、矢崎昭子氏と三島市 8020 推進員会の 30 名の方により盛大に披露した。今後の各地域の 8020 推進員によるサンバ体操の普及に努めていただけるものとする。

## (2) 成人・高齢者向け紙芝居の作成と普及

過去 3 年間、8020 運動の普及の一助として、県民から「8020 童話」を募集し、総数約 200 件もの作品が集まった。平成 16 年には子ども向け紙芝居「迷子になった前歯」を静岡文化芸術大学の佐井国夫教授のご協力を得て、同大学の学生から絵画を公募し作成した作品は幼稚園、保育園、小学校で上演され好評を博した。

今年度は高齢者向けの紙芝居を作成するために応募作品を見直してみたが、適切な作品が見当たらず、8020 健康静岡 21 推進会議委員で児童文学者である平野ますみ氏に「ゆびきりげんまん」を書いていただき、絵画は前回と同様静岡文化芸術大学に依頼し、学生に公募を行った結果最優秀賞の杉浦亜矢子さんの作品を採用し、紙芝居「ゆびきりげんまん」を作成した。

紙芝居のコンセプトは高齢者の方に歯の健康を保ち、食べることの大切さを知っていただくことにある。現在、市町の 8020 推進員に配布し、高齢者施設、老人会の集まり等、各種のイベント等で活用していただくようお願いしていると共に、市町を通じて高齢者施設に配布することを検討している。

この紙芝居のことについては、平成 18 年 12 月 21 日に開催した第 2 回メディア懇談会において、原作者の平野ますみ氏による語りで上演。後日新聞記事として掲載された。また、平成 19 年 1 月 25 日開催の 8020 推進静岡県大会 2007 においても披露した。

## (3) 関係職種と連携した各地域の実践活動

本会広報部が作成した対外広報誌「スマイル 6 号」を広く一般県民の方々に配布するために 8020 健康静岡 21 推進会議では、平成 18 年 11 月 8 日(いい歯の日)に

のぼり旗「11月8日はいい歯の日」を設置し、県下のJR駅東・中・西の3ヶ所（三島・静岡・浜松）の駅改札口において、「目指そう！8020」のスローガンのもと、広報部と協力して対外広報誌を配布した。

各々の駅には4名程度の8020推進会議委員と広報部員4名が参加し、広報誌5,000部を配布。口腔の健康に関心を持っていただくためには、大変斬新な試みであり、新聞数社による取材があり記事が掲載された。

#### （4）メディア懇談会の設置と活用

新聞・テレビ・ラジオ等のメディアに対して、以下の趣旨のもと県歯メディア懇談会を開催した。

- ① 定期的に歯科に関する情報をプレリリースする。
- ② 歯科に関する基礎的な理解をしていただく。
- ③ 広く深く歯科医利用について懇談、意見交換を行う。
- ④ 県下の歯科医療の向上を目指す。

およそ3ヶ月に1回程度を目途に開催を予定し、第1回は平成18年9月28日に静岡県歯科医師会館にて開催した。内容は以下の通り。

- ① 静岡県歯科医師会の紹介
- ② 8020運動について
- ③ 新介護予防関連で、8020健康静岡21推進会議と一緒に作成した、お口や上半身の体操「8020サンバ体操」の紹介

16の新聞社・通信社・テレビ局・ラジオ局へ案内状を送付し、当日は8社からの出席があった。最初の試みとしては、成功であったと考える。

第2回は平成18年12月21日に本会館で開催した。内容は、

- ① 静岡県歯科医師会の8020運動の取り組みについて
  - ・ 8020健康静岡21推進会議の運営
  - ・ 8020推進員育成事業
  - ・ 8020推進静岡県大会
  - ・ 8020達成者表彰
  - ・ 8020推進劇
  - ・ 8020童話賞
  - ・ 8020童話紙芝居
  - ・ 伊豆の国市歯周病対策事業
  - ・ 8020講習会
  - ・ 8020トップセミナー

- ・ ねんりんピック開催時の歯数調査事業

② 食育シンポジウム開催について

特に印象的だったのは、懇談会終了時に歯科医以外で8020運動に熱心に取り組んでいる平野ますみ氏に対して、メディア関係者は強い関心を持ったことである。メディア関係の出席者は16社に案内を出し10社であった。

5. 今後の課題

- (1) 今まで作成した8020運動普及のためのツールを利用し、広く一般県民に普及するための方法を具現化させるため、行政内に8020推進員を掌握していただける部署の設立を早急に検討していくこと。
- (2) 8020運動を地域において普及するための手段としてのツールをさらに開発していく事。
- (3) メディアが興味を持つような内容の事業を実施し、取材・報道を通して公益法人としての歯科医師会を理解していただくよう努力する。